

みずほCustomer Desk Report 2019/11/19 号 (As of 2019/11/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.80 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.71	1.1054	120.16	1.2919	0.6815
SYD-NY High	109.07	1.1090	120.68	1.2985	0.6823
SYD-NY Low	108.51	1.1047	120.11	1.2915	0.6799
NY 5:00 PM	108.67	1.1072	120.33	1.2951	0.6808

NY DOW	28,036.22	31.33	日本2年債	-0.2100	▲1.00bp
NASDAQ	8,549.94	9.11	日本10年債	-0.0900	▲2.00bp
S&P	3,122.03	1.57	米国2年債	1.5991	▲1.41bp
日経平均	23,416.76	113.44	米国5年債	1.6361	▲1.65bp
TOPIX	1,700.72	4.05	米国10年債	1.8144	▲2.07bp
シゴ日経先物	23,400.00	20	独10年債	-0.3375	▲0.10bp
ロンドンFT	7,307.70	4.76	英10年債	0.7480	2.20bp
DAX	13,207.01	▲34.74	豪10年債	1.1580	0.10bp
ハンセン指数	26,681.09	354.43	USDJPY 1M Vol	5.35	▲0.05%
上海総合	2,909.20	17.86	USDJPY 3M Vol	5.79	▲0.06%
NY金	1,471.90	3.40	USDJPY 6M Vol	6.29	▲0.11%
WTI	57.05	▲0.67	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	179.18	▲1.82	EURJPY 3M Vol	6.36	▲0.09%
ドルインデックス	97.82	▲0.18	EURJPY 6M Vol	6.80	▲0.04%

東京	東京時間のドル円は108.71レベルでオープン。前週末の好調な米国株式が安心感を誘い一時108.85まで上昇。その後は、材料乏しく上値重い展開。108.80付近を中心とした狭いレンジ幅となり108.85レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.85レベルでオープン。ロンドン時間に特に材料はなく、アジア時間のリスクオンムードが継続。一時109.07まで上昇し109.03レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2925レベルでオープン。英与党の保守党候補が当選後にはジョンソン首相のブレクジット合意案を支持することで党内合意した、といった週末の報道を好感しポンドは買い地合いでスタートし1.2985まで買われる場面も。しかし騰勢を保つことができず1.2958レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、目立った材料のない中円売りが優勢となり、109.07まで戻し、109.03レベルでNYオープン。朝方は中国当局者の話として「通商協議に対する悲観的な見方が中国側で強まっている」とのヘッドラインを受け、ドル売りが優勢となり108.62まで下落する。その後もトランプ大統領、ムニシュン財務相、パウエル議長で会談があったと発表され、パウエル議長は金融政策の見通しに言及しなかったと報じられたが、トランプ大統領がパウエル議長とマイケス金利やドルについて協議したことを明らかにしたこと、ドル売りが再び優勢となり、108.51まで下落する。その後は、米政府が中国通信機器メーカー大手の禁輸措置猶予を更に90日間延長することを発表したことからドル円は下げ渋る。午後はダウが最高値を更新する中、ドル円は108.68まで戻し、108.67レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、狭いレンジでの推移が続き、1.1058レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、前述の中国に関するヘッドラインを受けたドル売りや、トランプ大統領とパウエル議長の間でマイケス金利やドルについて協議したことが明らかになり、更にドル売りが優勢となり、1.1090まで戻す。午後は、ドルがやや買い戻される展開に、ユーロドルは上値を切り下げ、1.1072レベルでクロスした。(NY井上)

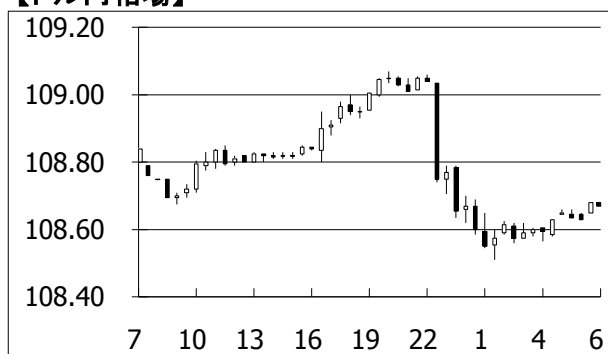
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月19日	02:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「FRBは利下げを停止し経済動向を見極めるべき。」	

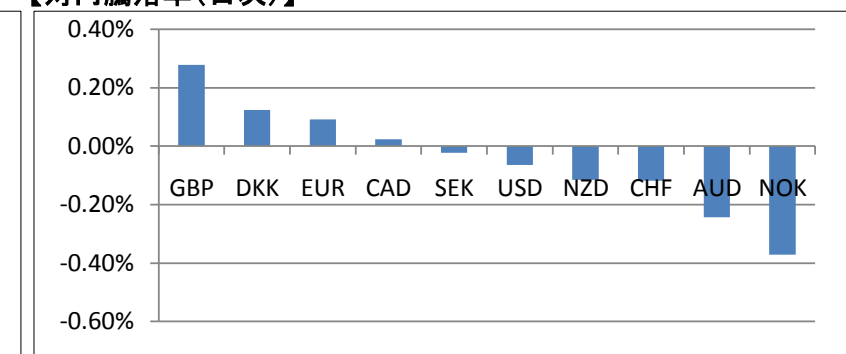
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月19日	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	10月 1320k/1385k	1256k/1391k
	22:30	米 住宅着工件数・住宅建設許可(前月比)	10月 5.1%/-0.4%	-9.4%/-2.4%
	23:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
11月20日	03:00	加 ウィルキンス・カナダ中銀上級副総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 悔しいけれど結局米中交渉次第

先日、米欧そして中国から有力者を招き、中国台頭以降の世界秩序に関する集まりがストックホルムで開催された。ひとことと比べて議論が沸騰することもなく、参加者の間で一種の諦観が共有されたそうである。米国にしても欧州にしても中国が権威的な国家主義を変えるつもりがないことを確信してしまい諦めムードが会議を支配したそうである。先の大戦以降、米国はその圧倒的な軍事力を背景に世界の警察として目を光らせ、自由と人権という理念を掲げて唯一の超大国として君臨してきた。91年にソ連が崩壊して以降の四半世紀は、たとえ米国での同時多発テロがあったにしてもそれまでの世界大戦の経験から比べれば嵐の海であったと思う。この嵐の海は中国の台頭とトランプ大統領の登場によって荒天へと様変わりした。米国は特別な国であろうとすることを放棄して、世界中の他国と同様に自国の利益を最優先に考える普通の国になると宣言した。その米国という船が荒天を乗り切れるか転覆するか、今まさに重要な岐路に差し掛かっていると思う。

今のところ為替相場自体からは荒天の海を感じることはない。よく「ゴルディロックス」と言われるように嵐の相場が続いている。ただ嵐相場に関して嵐の前の静けさであるという認識を持つべきであろうと思う。為替相場は米中両国の貿易交渉の行方を辛抱強く見守っている。従来以上に短期決戦となる大統領選挙を控えてトランプ大統領がより多くのディールを欲していることは明白であるが、普通の国になりたい宣言をした米国が思い通りことを運べるのかお手並み拝見である。だとすれば残念ながら我々相場参加者もうしばらく辛抱しなければならないということか。(加藤)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
10	10